



みなみ

園だより 5がつ

令和8年5月1日
目黒区立南保育園園長



入園・進級してから1か月が経ち新しい部屋や新しい大人との生活にも慣れ安心して過ごせるようになってきたと思います。先日の土曜日保育の時のこと、0歳児から5歳児と一緒に過ごしている中で一番大きいクラスのとんぼぐみになった子が小さい子の存在をととても大切にしてくれていました。「かわいいね。」と1歳児の目の高さまで自分もしゃがみとても優しい声で話しかけます。遊んであげたり、今は見守っていてあげたほうがいいかなというときは少し離れて5歳児なりに考え接しようとしている姿に、心の成長をととても感じたやりとりでした。

保育園には0歳児から5歳児に加えて、保育士だけではなく様々な職種の人などがいて、関りもたくさんあります。関りの中で感じ学ぶことが多くあります。子どもたちのそのときの気持ちをしっかりと受け止め次につながる援助をし、心もからだも大きくなろうとする姿を支えてあげたいと思います。

行事日程

0歳児健診
春の定期内科健診 全園児
※身体計測・避難訓練 全クラス

前期クラス懇談会日程

5・6月に懇談会を計画しています。
詳細はまたお知らせを配信させていただきます。

～ 虫よけ対策について ～ 看護師より

外遊びが気持ちよい季節です。虫探しに夢中になるうちに、いくつも蚊に刺されていることもあると思います。子どもは大人に比べて体温が高く汗もかきやすいことから、より蚊に刺されやすいといわれています。もし刺されてしまった場合の対処として①水や石鹸で患部を洗い流し、②患部を冷やしてかゆみを抑え、③かゆみ止めなどの軟膏を塗ってあげましょう。

子どもの場合、刺されて1～2日後に強く患部が腫れてしまうことがあります。また一部の方でアレルギー反応が強く出て発熱するケースもあります。その際は皮膚科や小児科等の受診を考えましょう。爪が伸びていて、患部を掻き壊すと「とびひ」になりやすいです。

爪のお手入れも引き続きお願いします。



進級した子どもたちの生活や遊びの様子をお伝えします。

3歳児 でんでんむし組

走ることが大好き、体を動かすことが大好きなでんでんむし組の子どもたちは、朝もおやつが終わってからも「せんせい、はやく外いこうよー」と元気な声で誘ってくれます。春になり暖かくなってきたので虫がたくさんでてきました。夢中になって蝶を追いかけたり、ダンゴムシを見つけたり、小さな幼虫を見つけたりしています。「わあ、いたいた」「動いているね」「ちょっとこわいよ」と友だち同士で虫の様子を言葉でやり取りをして楽しんでいます。



4歳児 こおろぎ組

戸外に出る前から、「氷鬼するひと！」と仲間を集めて氷鬼を楽しんでいます。ルールのある遊びを友だちと一緒にすることが楽しく、大盛り上がりの子どもたちです。タッチをされると「おたすけー！」と仲間を呼んで助けてもらい、「やったー！ありがとう！」と声をかけて大急ぎで逃げていく子もいます。走るスピードも速くなり、タッチされそうになるのをかわす動きも巧みになってきました。鬼の決め方も、とんぼ組の友達がやっていた決め方を真似していて、スムーズに決まらないこともあります。やってみたいなという思いや憧れの気持ちも育てているのだなと感じています。



5歳児 とんぼ組

こおろぎ組の時は“転がしドッジボール”を楽しんできました。進級した後、上手投げの練習をしてから“ドッジボール”をするようになりました。地面にボールがついてしまうこともありますが狙いを定めて投げ、当てることができると大喜びです。繰り返し経験する中で上から投げることが上手になる子もでてきました。外野、ジャンプボールと役割を同じグループで決めて、どちらのチームも白熱しています。「頑張れ」と応援したり、負けて悔しい気持ちを味わいながらも「今日もドッジボールしたい」という声が多く、ブームになっています。

